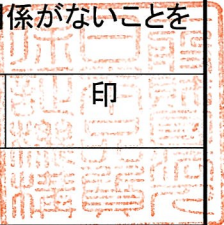


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会
 (事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 25 年 3 月 26 日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名	
株式会社山形県食肉公社工場棟懸肉室における冷温水同時取り出しヒートポンプを利用した化石燃料削減プロジェクト	
GHG 検証機関	
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。	
機関名	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA) 
担当部署名	地球環境事業部
責任者名	常務理事 矢野 忠行
責任者 E-mail	yano-tadayuki@jqa.jp
責任者電話番号	03-6212-9333
審査員名 ⁱ	検証担当者 :野村 祐吾(検証チームリーダー) 外部専門家 :なし レビュー担当者 :浅川 健一(テクニカルレビュー、プロセスレビュー)
機関要件への合致	合致
検証結果	
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.2
事業者との契約日	2013年2月13日
モニタリング報告書受領日 ⁱⁱ	2013年2月22日
検証報告書発行日	2013年3月26日
現地審査	期間 2013年 3 月 6 日

		<p>デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。</p> <p><GHG データ及び情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの活動境界に変更はないか ・プロジェクト活動に関係するすべての排出活動に変更はないか ・モニタリングポイントについて変更点はないか ・モニタリング体制及び算定体制は適切に運用されているか ・データチェックは適切に実施されているか ・活動量データは正確に収集されているか ・発熱量、排出係数、その他換算のためのデータは適切に収集されているか ・データの集計は正確か ・排出量は適切か <p><QA・QC 体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング体制及び算定体制はモニタリング計画書に記載通り運用されているか ・モニタリング担当者の力量は十分か ・データチェックは適切に実施されているか ・計測機器の管理はモニタリング計画書に記載通り行われているか 				
審査内容						
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	-	-	-	105 (2012年1月1日～2012年12月31日)	
検証結果の要約		<p>一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、株式会社山形県食肉公社による工場棟懸肉室における冷温水同時取り出しヒートポンプを利用した化石燃料削減プロジェクトを対象として、モニタリング期間(2012年1月1日～2012年12月31日)における二酸化炭素排出削減量を検証した。検証の結果、「株式会社山形県食肉公社工場棟懸肉室における冷温水同時取り出しヒートポンプを利用した化石燃料削減プロジェクト モニタリング報告書(2012) Ver.1.1」に記載された二酸化炭素排出削減量 105 t-CO2は「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書 Ver.1.3」及び「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書 Ver.1.2」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO2(二酸化炭素排出削減量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。